

「ヘルスケア&ウェルネス NFT 研究会」 設立趣意書

1. 設立の趣旨

現代社会では、ヘルスケアとウェルネスが個人と社会の持続可能な発展に不可欠な要素として重要視されています。デジタル技術の急速な進展により、ヘルスケアおよびウェルネス分野においても革新的なソリューションが求められています。その中でも、NFT（非代替性トークン）技術は、デジタル資産の唯一性と透明性を保証する手段として注目されており、新たな事業モデルの創出に大きな可能性を秘めています。

本研究会は、NFT 技術を活用してヘルスケアおよびウェルネス分野における新たな事業モデルを創出し、予防医療・医療、介護予防・介護、看護、健康経営、ウェルビーイングなどを主なテーマとして取り組むことを目的としています。

また、企業の新規事業開発を支援し、NFT の利活用を中心に据えながら、PHR（Personal Health Record）や都市 OS の活用を重視し、“まちづくり”にも役立つソリューションを提供することを目指します。

2. 研究会座長

山田 憲嗣 (Yamada Kenji)

大阪大学大学院情報科学研究科 情報ネットワーク学専攻 特任教授

【共同研究講座】スマートコントラクト活用共同研究講座

3. 研究会の目的

(1) NFT 事業モデルの創出

ヘルスケア&ウェルネス分野での NFT の可能性を探り、新たなビジネスチャンスを探ります。健康・医療データのトークン化や個人の健康履歴（PHR）の管理における NFT 技術の応用展開について研究し、具体的なビジネスモデルとして具現化します。

(2) ヘルスケア全般のテーマの追求

予防医療・医療、介護予防・介護、看護、健康経営、ウェルビーイングなど、幅広いヘルスケアテーマについて深く探求し、最新の知見と技術を取り入れた研究を行います。これにより、社会全体の健康福祉レベルの向上と持続可能な医療・介護システムの構築を目指します。

(3) 企業の新規事業開発支援

企業が、NFT を活用した新たなビジネスモデルを開発するための支援を行い、具体的なプロジェクトの立ち上げや実践的なビジネスプランの策定をサポートします。企業が抱える課題に対する解決策を提供し、産業全体のイノベーションを促進します。

(4) PHR 活用と都市 OS の重視

個人情報や医療機関や介護施設とのデータ連携を円滑に進めるための仕組みを研究します。また、PHR や都市 OS の活用により、スマートシティにおけるヘルスケアサービスの効率化と最適化を目指します。データの相互運用性やプライバシー保護に関する課題にも対処します。

(5) まちづくりへの貢献

ヘルスケアおよびウェルネスの視点から、地域社会の持続可能なまちづくりに貢献するための具体的な施策を検討します。都市 OS と連携し、地域の健康・医療・介護データ等を活用することで、住民の健康増進や介護福祉の向上を目指します。

4. 研究会の活動内容

◇定期研究会の開催 (研究会員のみ)

NFT 技術とその社会実装をベースに、各テーマに関する最新情報の共有、専門家による講演、ディスカッション等を行います。

◇ワークショップおよびセミナー (オープン)

NFT 技術の基本から応用まで、実践的な知識とスキルを習得するためのワークショップやセミナーを開催します。

◇共同研究プロジェクトの推進 (研究会員のみ)

個別テーマごとに、参加企業と連携し、実際のビジネスシーンにおける NFT 活用事例の創出と検証を行います。

◇データ連携の実証実験 (研究会員のみ)

情報銀行、PHR の活用やデータ連携、都市 OS を活用した実証実験を通じてノウハウ等を蓄積するとともに、具体的な課題解決策を模索します。

◇まちづくりプロジェクトの実施（オープン）

ヘルスケア&ウェルネスをテーマにしたまちづくりプロジェクトを立ち上げ、地域社会の持続可能な発展に貢献します。

5. 参加対象

- *ヘルスケア&ウェルネス分野での新規事業開発を目指す企業
- *NFT 技術の応用に関心のある技術者および研究者
- *医療機関、介護施設等のヘルスケアサービスプロバイダー
- *ヘルスケアデータ管理に関心のある IT 企業およびデータサイエンティスト
- *地域社会のまちづくりに携わる NPO 等の団体など

6. 研究会参加費用

区分	年会費	特典
一般会員 (企業等)	80,000 円 (消費税無し)	研究会への参加、資料提供、ネットワーキングイベントへの招待、サブワーキングへの参加および設置支援、実証実験および国プロ等への参画
特別会員 ※1	無料	研究会への参加、資料提供、ネットワーキングイベントへの招待、サブワーキングへの参加および設置支援、実証実験および国プロ等への参画

※1：特別会員・・・医療機関（病院・診療所・調剤薬局・健診機関等）、介護施設・介護サービス事業者、大学、研究者、その他教育機関等

*研究会費用の管理・運用については、年度末ごとに収支報告をさせていただきます。

7. お問い合わせ

【連絡先】

ヘルスケア&ウェルネス NFT 研究会

事務局：ヘルスケア社会実装デザイン事務所：卯津羅（うづら）宛

メール：nft.health@gmail.com

電話：090-9114-9421

【付録 I】

■ 初年度活動計画（案）

回	月	テーマ	活動内容
第 1 回 研究会	R6 11 月	NFT 技術の基本と応用可能性 (研究会発起会と併催)	<ul style="list-style-type: none"> 研究会座長講演、研究会設立および計画等に関する説明 NFT 技術の基本概念と事例の紹介 参加者同士の意見交換とネットワーキング
第 2 回 研究会	R7 2 月	PHR 活用とデータ連携	<ul style="list-style-type: none"> PHR の管理と活用に関する事例の紹介 データ連携の現状と課題についてのディスカッション 情報銀行およびマイナンバーカードとの連携に関する検討
第 3 回 研究会	R7 5 月	医療・介護における NFT の 応用可能性	<ul style="list-style-type: none"> 医療と介護における NFT 活用の初期調査結果の共有 実際のプロジェクト立ち上げに向けたワーキング サブワーキンググループの設置に関する検討と準備
第 4 回 研究会	R7 8 月	都市 OS とまちづくりにおける ヘルスケアソリューション の可能性	<ul style="list-style-type: none"> 都市 OS の基本概念と事例の紹介 まちづくりにおけるヘルスケアソリューション構想の検討 初年度の活動総括と次年度の活動計画の策定

初年度の目標
①NFT 技術の基本理解と応用可能性の探求
②PHR 活用等とデータ連携の基礎知識の共有
③医療と介護における NFT 利用可能性の初期調査と基礎的な利活用の検討
④都市 OS とまちづくりにおけるヘルスケアソリューションの初期構想の企画・構築
⑤情報銀行およびマイナンバーカードとの連携に関する可能性の検討
⑥サブワーキンググループの設置と次年度の具体的な活動準備

以上